

空間あい サロンコンサートV ~あなたに愛と調和と芸術を~

# モーツァルト フルート四重奏全曲の夕べ

## Program

フルート四重奏曲 ニ長調 K 285  
Flute Quartet in D major K 285

フルート四重奏曲 ト長調 K 285a  
Flute Quartet in G major K 285a

フルート四重奏曲 ハ長調 K Appendix 171 (285b)  
Flute Quartet in C major K Appendix 171 (285b)

フルート四重奏曲 イ長調 K 298  
Flute Quartet in A major K 298



パヴェル・フォルティン(フルート)



秋葉 美果(ヴァイオリン)



井桁 正樹(ヴィオラ)



ファニー・ブザルグ(チェロ)

2020年4月26日(日) 15:00 開演 (14:30 開場)

アトリエミストラル

一般：3,000円 当日：3,500円 学生：1,500円

(チケットのご予約は(株)空間あい、またはアトリエミストラルまで)

- 主催 株式会社 空間あい 090-1815-4608 kuukan.ai@gmail.com  
ゆうちょ銀行 振替口座 0023-3143-02910 カブ)クウカンアイ  
(上記にご送金いただければチケットを送付します。)
- 会場・共催 アトリエミストラル 高崎市下小鳥町 312-4 (駐車場有)  
090-8047-3757 mistralmusica@icloud.com
- 後援 (公財)群馬交響楽団 上毛新聞社

## 開催にあたって

「私のプラハ市民は、私のことを理解している！」モーツァルトはこの言葉を、1787年にプラハでドン・ジョヴァンニの初演が成功に終わったとき叫んだ。モーツァルトは、何度もプラハを訪れている。それは、ウィーン市民よりもプラハっ子たちが彼の作品を高く評価していたからだ。プラハでのモーツァルトの逗留先は、友人ドゥシェック夫妻の別荘「ベルトラムカ」である。

パヴェル・フォルティンは、プラハでは、ベルトラムカから丘を越えて歩いて数分のところに住んでいて、私もその丘を歩いてベルトラムカまでの道程をモーツァルトに想いを寄せた。今回の企画は、群響事務局として勤務した私が、ある出来事で頻りに会い、彼の音楽に対する愛に感動して企画した。そこでの終着点は、パヴェル・フォルティンと群馬交響楽団の仲間たちだった。

(株)空間あい 新井 浄



## プロフィール

### Pavel FOLTÝN パヴェル・フォルティン Flute

音楽教師であった父の下で、幼い時から恵まれた音楽環境に育ち、8才からヤナーチェク・フィルハーモニー首席奏者 J・コロシ氏の下でフルートを始める。その後オストラヴァ音楽院を経てヤナーチェク音楽大学を卒業。その間に A・ホラーク、V・ベラン、A・ボウレク各氏に師事。1981年からフランス政府給費留学生として、パリ・エコール・ノルマルに留学し、コンサート・フルーティストの学位を取得。C・ラルデ氏に師事し、1年間でディプロマを得て、卒業後は A・マリオン氏の下で研鑽を積む。帰国後もチェコ文化省より研鑽援助を受け、M・ムンツリング氏に師事。1981年「プラハの春」国際コンクール入賞を始めチェコ国内、ポーランド、ハンガリー等の国際コンクールで1位入賞、他数々のコンクールで入賞。

日本では、1996年から毎年リサイタルやクリスマスコンサート等を行い、NHK・FM 名曲リサイタル、ベストオブクラシック等にも出演。マルティヌー、シュルホフのソナタ、フルート小品集、モーツァルトのフルート協奏曲のCDなど多数録音。また、オネゲルの「フルートとイングリッシュ・ホルンのための室内協奏曲」をスメタナホールにてプラハ交響楽団と、群馬音楽センターにて群馬交響楽団と共演し、録音発売している。チェコ・フィルハーモニー、プラハ交響楽団首席奏者を経て、現在 群馬交響楽団第一フルート奏者。

### Mika AKIBA 秋葉美果 Violin

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部器楽科を卒業。その後同大学院音楽研究科を修了。ポーランドに留学し、シヨパンアカデミー研究課程を修了。これまでに、西川重三、鷺見三郎、田中千香士、天満敦子、前橋汀子、ベラ・カトーナ、タデウシ・ガジーナの各氏に師事した。第9回霧島国際音楽祭で奨励賞受賞。NHK-FM リサイタルに出演。旧・東京ゾリステンメンバーとして、国内やフランス、スペイン、メキシコ、ポルトガル、ポーランドで数々のコンサートにソリストとしても出演。その他フランス、ポーランドのオーケストラ、旧・新星日本交響楽団、群馬交響楽団と協奏曲を共演。日本やポーランド各地でリサイタルやデュオのコンサートを開催、音楽祭などにも出演した。中でも、東京ゾリステンヨーロッパ公演のライブ録音(Victor)は特に注目された。その後、群馬交響楽団の首席奏者に就任し、同時に群馬県内外でソロをはじめアンサンブルも意欲的に演奏している。近年は、八ヶ岳高原音楽堂「四季のコンサート」に度々出演した他、「秋葉美果さんを囲む会」の応援を受け、観客に親しまれる独自のコンサートを展開している。また、弦楽アンサンブル「すみれ」など後進の指導にもあたっている。

### Masaki IGETA 井桁正樹 Viola

埼玉県出身 1976年、東京藝術大学器楽科ヴィオラ専攻を卒業。同年4月、群馬交響楽団へ入団。ヴィオラを磯良男、浅妻文樹、ウィリアム・プリムローズの各氏に師事。室内楽を海野義男、日高毅の各氏に、指揮法を金子登氏らに学ぶ。群馬交響楽団では演奏の傍ら音楽教室専門委員や運営委員会委員及びインスペクターを永年務めた。1989年に発足した群響合唱団の創設に関わる。1999年には群馬交響楽団のヴィオラ奏者全員(8名)によるヴィオラの音楽会を開催し、同年のアフィニス・アンサンブル・セレクションでは優秀アンサンブルに選ばれる。2016年9月、群馬交響楽団を定年で退職。現在は、ヴァイオリン&ヴィオラ奏者として後進の指導やこどもの為のワークショップ、シリーズ音楽物語等を展開している。

### Fanny POUZALGUES ファニー・プザルグ Cello

マルセイユ音楽院で G.Teulieres に師事。チェロ、室内楽、ソルフェージュで金賞受賞。同音楽院卒業後、英国はロンドンのギルドホール音楽院で R. Sommer に師事し、優秀な成績で卒業。また、英国 The String Experience Scheme のチェロセクションにて選抜され、ロンドン交響楽団(LSO)で Sir Colin Davis および Andre Previn 各氏の指揮により演奏。その後、米国のインディアナ大学大学院で堤剛に師事。同大学院音楽研究科修了。1998年に群馬交響楽団チェロ奏者就任。ソロリサイタルや室内楽においても活躍中。これまでに、W. Boettcher, C. Henkel, G. Hoffman, A. Noras, J. Starker の各氏に師事。2010年11月から、トリオ・アンフォリアのチェリストを務めている。

## 会場

### アトリエミストラル

高崎市下小鳥町 312-4 (駐車場有)

#### 【交通のご案内】

群馬バス：高崎駅西口バスステーション2番乗り場かた「浜川経由箕郷」行きまたは「伊香保温泉」行きに乗車し「上郊口(かみさとぐち)」で下車。バスの進行方向に向かって徒歩1分の右側

タクシー：JR 高崎駅から約20分、北高崎駅から約7分

問屋町駅から約5分

